

育成モノづくり人材

Vol. 88

東京都立足立工業高校

東京都立足立区は都内で2番目の工場数を誇る。都立足立工業高校は地域との連携を大切



小堀校長

にしながら、生徒にモ
ノづくりの学びの場を
提供する。力を入れる
材を育成している。
インターシップ(就
業体験)は受け入れ先
の9割以上が足立区
内。2年生は全員参加
で毎年約60社・大学が
受け入れている。3日1
回、文化祭でこの蒸

五輪に貢献「回収箱」製作

間の通常プログラムと
希望者のみの10日間の
技能習得型就業体験が
ある。地域企業と密に
関わることで、卒業後
も地域に貢献できる人

【DATA】▷校長=小堀隆氏▷所在
地=東京都足立区▷学科構成=総合技
術科▷生徒数=418人▷主要設備=ウ
ォータージェット、レーザー加工機、
マシニングセンター、3Dプリンタ
ー、高電圧実習装置、ロボット制御実
習装置、ペンディングマシンなど▷主
な進路=発研セイコー、旭精器製作
所、ディスプレイジャパン、中山ライ
ニング工業、タカラ工業、関電工、東
洋大学、日本経済大学、日本工業大
学、東京電機大学など

クのメダル
製造に向け
小型家電を
集める回収
ボックスを
製作。使用
済みの携帯
電話などを
投入口に
入れると、
の数字が増



生徒は地域企業と関わりながら技能を磨く

徒が運転する。貴重な
モノづくり財産の維持
にも貢献している。
2017年1月には
東京都の依頼で20年東
京五輪・パラリンピック

3クラスを機械と広い
分け方をしていた。新
カリキュラムは2年次
以降のコースをさらに
明確化し、機械加工、
生産技術、電気システ
ム、制御システム、情
報コミュニケーション
に分ける。先端技術な
どの発展に対応するた
め、学生たちそれぞれ
の興味・関心に合った
学びの場を提供する。
同校は地域と密接な
関係を築いてきた。小
堀校長は「区内唯一の
工業高校として、今後
も入学を希望する生徒
を増やしていきたい」
との目標を語った。
(大串菜月)
(金曜日に掲載)